

沖田町会報

No.34

発行責任者 岡田 徳美
編集責任者 松永 正典

第43回定期総会開催

将来見据えた重要案件も

平成二十八年度沖田町町内会定期総会が、四月十六日、町内会館で、84名（委任状提出251名）を集めて行われました。冒頭、鈴木恭治元町内会長はじめ昨年度亡くなられた会員の方々に黙祷を捧げ、議長に6班の山本文志さんを選出し、定例案件である昨年度の会務及び会計報告、そして今年度活動方針と予算案を審議し承認されました。続いて今年度の重要案件である、町内会会則の改定、と前野町町内会館建設費用積立金の凍結についての慎重な審議が行われ承認されました。最後に、今年度の班長・子供会・婦人部等新役員紹介があり、平成二十八年度がスタートしました。



二つの重要案件については、どちらも、数度の役員会で議論を尽くし、積立金については当該会員からアンケートを取り、班会議での審議を経て、総会に諮られたものです。

まず六年ぶりとなる町内会会則改訂の主たるところは、交通災害部と環境衛生部を発展的に統合して、環境安全部としました。それから、負担の大きい部には、副部长を増員するとともに、「部員」という名称の、役員を補佐する役割を数名配置しました。また、町内会長は、役員候補者の中からではなく、広く全会員の中から選ぶことにしました。少子高齢化の中で、出産に対して祝い金を出す条項を加えました。いずれも、時代の変化に合わせて、仕事の偏りを是正し、組織を強化するねらいを持っています。

次に、前野町町内会館の件についてです。前野町は現在も世帯数が増えており、独立するのに十分な大きさになっていけると言えます。昨年十二月に当該班で行ったアンケートによれば、これまで通り沖田町と一緒にやっていくことを望む意見が、

7月6日、前野町にて空き巣事件が発生しております。外出する際は、ほんのちよつとの時間と思っても、施錠（鍵かけ）を徹底するように習慣づけが大切です。空き巣のプロは驚くほど短時間で犯行が可能といわれています。日頃からお隣り・ご近所のつながりを深め、町内・班内で不審な人を見かけたらすぐに交番に通報するなど、防犯に務めましょう。

秋田中央警察署 新屋交番 ↓ TEL 828.2122



出産祝い適用第1号!

会則改訂の条項が、組織や役員に関するものがほとんどで、実際の適用は一年後となりますが、その中で、「出産祝い」に新会則が適用されました。
16班（前野町）山田一誠さんに、六月二十日、第二子長男 裕絃（ゆいと）君が誕生したのです。
出生時体重2804gで、すくすく育っています。
班長さんから報告を受けた町内会では、七月十四日、早速岡田会長が山田さん宅を訪れ、祝意をお伝えするとともに、お母さんにお祝いをお渡ししました。
本当におめでとうございます。



一方で、沖田町内会では現在の町内会館建設のため、平成八年から十八年まで十年間に渡り、月二百五十円集金し、一戸あたり合計三万円を町内会費とは別に集金しました。いざれ独立する予定の班からは集金しなかつたのです。
平成二十二年、前記班が百世帯を超えたのを期に、新町内会館建設（会館建設用地は前野町児童遊園地の隣）のために、平成二十三年度

夏祭り実施日程について

今年の夏祭りは、当初の活動方針案で予定していた日程を変更し、8月20日（土）に行います。現在青年部で詳細内容を検討中です。お楽しみに。

第3回廃品回収日程

子供会育成部で実施している廃品回収の8月実施日程は8月20日（土）です。ご協力をお願いします。

より、五年を目処に対象世帯から、町内会費とは別に五百円ずつ集めることにしました。そして、目処の五年が経過し、現在約三百七十万円となっております。

現在、沖田町町内会は、沖田町、鳥木町、そして前野町と合わせて四六八世帯を数え、新屋地区において比内町について二番目の大所帯になっており、前野町の世帯数はさらに増えていきます。大きいことにはメリットもデメリットもあるようです。新しい町内会を作ることについては、たいへんであること、また、沖田町内会にとつて、前野町の若い力が貴重であるという現実問題もあります。今回皆で考えたことを元に、新会則にある「住みよい地域づくりのため」の町内会活動を推進していきます。

〈訃報〉

- 齋藤チナさん (91歳) 16班 3月1日
- 杉目文枝さん (86歳) 4班 3月6日
- 熊谷新作さん (77歳) 8班 4月1日
- 藤田時男さん (80歳) 9班 4月28日
- 伊藤幸子さん (64歳) 16班 5月10日
- 倉田キミ子さん (84歳) 8班 5月26日
- 長井 忠さん (90歳) 15班 7月6日

謹んでご冥福をお祈りいたします。

鹿嶋船の人形制作

6月12日、今年3月に秋田市の無形民俗文化財に指定された「新屋の鹿嶋祭」が行われました。

沖田町では今年も6班の山本さん指導のもと、青年部メンバーなどで鹿嶋船の人形制作に取り組みました。秋田公立美術大学の学生が手伝いに加わり、見事な作品が完成しました。6班の和泉さんからは今年もワンポイントになる手製のぬいぐるみ（キツネリスや飛行石）を提供していただきました。

毎年このときながら、各町内の力作の中でもひととき目を引く存在と



なりました。祭りの後の人形に対して毎回展示や寄贈依頼が多く寄せられ、今年も新屋幼稚園へ寄贈の予定となっています。

（美術大学生手記）

今年初の試みで、鹿嶋祭りの人形制作に参加させていただき、毎回楽しく作業をさせていただきました。町内の方々があまりにも親切で面白くて、作業をした日は毎回実家の家族に自慢をするほどでした。また、人形の作り込みやこだわり、熱意に心の底から感動しました。自分が美大生だということが恥ずかしくなるくらいで、正直悔しいです。この悔しさを自主制作にバンバン生かして、町内の方々をあとと言わせられる作品を作り出したいと思えます。

そして、今回私が最も嬉しかったことは、沖田町とつながりを持ってたことです。今後もこのつながりを大事にして、沖田町の様々なイベント

安心して暮らすために

秋田中央警察署 講演会開催

去る7月11日、沖田町内会館において秋田中央警察署の皆さんをお招きし講演会を実施しました。その内容の一部をお知らせいたします。日頃自転車に乗っておられる皆様ご存知でしょうか。

●70歳以上の方や13歳以下の人は自転車歩道を走ることが許されています。身体に障害のある人も同じです。

●道路の道幅が狭くて車道を通行するのが危険な場合も自転車歩道を通ることが許されます。

●自転車では人をね、9500万円の賠償金を請求され支払った人がいます。自転車といえども車です。車同様自転車の保険に入っておくことも大事です。

●酒に酔って自転車に乗るとそれ

だけで逮捕されます。違反をすると5年以上の懲役、100万円以下の罰金となります。

●夜道を歩く時は身体に反射材を付けて歩いて下さい。反射材をつけていると100m先の運転者から見えるので安全性が高まります。

●夜、車を運転する人はライトの下向き時に事故が多いのでなるべくハイビームにします。こまめに「上向き」「下向き」の切替を行います。

●高齢者の横断事故が続発しています。まわり道でも横断歩道を渡りましょう。

その他、寸劇をしながら振り込め詐欺にだまされない注意事項等も楽しく学びました。参加者は24名でした。（むつみ会 阿部和子）

に参加したいとちやっぴり考えてしまっています。今回は本当にありがとうございました。内記深幸さん

今回のあらやちやぶちやぶ大学の活動の一貫で、新屋の町内で出す鹿嶋祭りの舟のお手伝いをさせていただきます。

今年の沖田町の鹿嶋船の人形はロボット兵ラムダで、その造形へのこだわりは、美大に通う私が見習いたいくらいにこだわりの詰まっております。人形の中には町内の方々の知識と技術や経年より培われたのである知識とおもしろいアイデアが光っており、毎回行くたびに完成度が上がっていくのに感激しました。毎回の気さくながらも丁寧な御指導をいただき、私も楽しく作業が出来たのがとても印象的でした。今回、沖田町の人形制作に関わらせて頂けてとても良い経験を見せて頂きました。今後もこのような関わりを持ち続けられたらなあと思っております！ありがとうございます。（石井かおりさん）



制作を手伝った石井さん（左）と内記さん

活動だより

【総務部】

◎加藤勝夫さんのご尽力によっておきた町診療所と山岡さん宅、猿田さん宅の間の私道整備が完了し、きれいに舗装されました。

また、旧石田アパートの交差点付近の降雨時の洪水解消に向けて、小野副会長宅から旧石田アパートま

での市道編入要望書を、去る5月30日、秋田市建設部建設総務課に提出して頂きました。今年の7月末か8月の初めには該当地域の測量が開始される予定です。

◎11班の班長さんから、宝生酒店と後藤さん宅間の側溝の蓋が、子供の足が簡単に入るくらい大きく開いており危険という報告があり、西部サービスマスターに相談したところ早速対処していただき、6月22日に側溝の入れ替えが終了しました。

◎5月26日の日吉山王祭では、例年通り一本木の神事接待を実施しました。小野副会長が絵灯籠巡幸に関わったため、現地責任者として14班の鈴木絹子さんと12班の大島亮一さんにお手伝いいただき、無事に終えることが出来ました。

ありがとうございます。

【婦人部】

一本木公園での神事接待に始まり、慰労会の準備や後片付けなど、婦人部の皆様のご協力のもと、山王祭、鹿嶋祭りと今年度前半二つの行事が無事終了致しました。

そんな中、婦人部長の伊藤さんが差し入れて下さった漬物が「市販の浅漬の素を使ったのとは一味違う」「野菜の味が生きている」「いくらかでも食べられそう」とちよつとした話題になりました。

今回はその伊藤さん秘伝のレシピをお伺いしたので、ご紹介いたします。

★まず一夜漬けの素を作るのがポイント！

水↓1.8L 塩↓140g 砂糖↓220g

を混ぜて煮て一晩冷まします。あとから酢や鬼からしを混ぜても美味しいよ（まずは半量からでも）ビンなどに入れて冷蔵庫に入れておくと日持ちします。

作り方↓

①材料（キャベツ、人参、きゅうりなど）を食べやすいように切ってお

きます。

②ナイロン袋に①の材料を入れて、少量の塩、砂糖を加えて混ぜ合わせます。

③冷ましておいた「浅漬けの素」をお好みの分量で加えます。

④保存は必ず冷蔵庫で!! 行事の度に岡田会長婦人が作って下さる美味しいお漬物も大人気!

お二人のようにいつかは自分も差し入れ出来るようになりたいとは思いますが、これからどうぞよろしくお願ひします!

（婦人部 佐々木晴子）



【子供会育成部】

◆4/29（金）「遊山」

前日からの雨が当日の朝まで続き、中止しなければならぬと思いましたが、開始時刻には天気も回復し、無事に開催することが出来ました。

広場の状況があまり良くなかった為、プログラムを変更したりもりましたが、子供たち66人は元気に種目に参加してくれました。

印象的だったのが、6年生が率先して仕切ってくれて、小さい子供優先してスタート位置に並ばせてくれたりと優しい子供たちの姿を見ることが出来ました。

とが出来て、無事に終わることが出来ました。ありがとうございました。

（子供会育成部 部長 斎藤潤子）



（子供会育成部 部長 斎藤潤子）